

## 第9回 これからのコミュニティ施策の基本的考え方多摩区区域レベル取組検討会結果概要

- 1 日 時 令和元年9月22日（日） 午後2時～4時
- 2 会 場 多摩区役所11階1101会議室
- 3 出席者 委員16人、区役所職員3名
- 4 資 料 別添のとおり
- 5 結果の概要と出席者の主な意見

### 【これまでの振り返り】

- 第8回検討会以降の振り返りを行った。

### （会議のルールについて）

- 前回検討会で、検討のルールをきちんとしてほしいという意見が出た。本日の次第の裏に以前まとめた本会議のルールを載せている。これはどんな会議においても基本的なこと。前回は遅刻者がいたが、どうしても遅れる場合は事前連絡をする、入り方を注意するなど、大人のマナーとして考えてやっていただきたい。

### 【開設案の検討の進め方について】

- 開設案の検討については、今日を入れてあと3回ぐらいで終わりにしたいと考えている。時間を区切らないと進むものも進まない。今日は開設案の項目1～6を一通り話し合っただけで次回再度話し合う。全体を見ながら議論を成熟させていきたい。
- 時間がない中で集まっているので、意見がまとまらない時は、意見がまとまらなかった、という結論を出してほしい。
- 本検討会や資料3の開設案の位置付けや役割、これまでの検討状況は資料1のとおり。共有認識を持った上で、パターン1の開設案を徐々にブラッシュアップしていく形で議論を進めてもらいたい。

### 【フォーラムで寄せられた意見（要約版）の確認について】

- 資料を見て、どの資料とどの資料が関連して、どう変わったということが分からないので次回までに検討してほしい。

### 【寄せられた意見の開設案への反映について】

（項目1.「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく多摩区における検討）

- ここが一番問題。今までこういうことをやってきた、こういう反省があったという、これまでの経緯、反省がない。
- 今年の3月に市としての「基本的考え方」が出され、その話し合いは終わっている。
- これまでの経過が分かるように、関連ホームページのアドレスを追記してほしい。
- ここに、地域包括ケアシステムとの関連性を入れたらよいのではないかな。
- フォーラム等で寄せられた意見をうまく取り込んでまとめているので、このままでよいと思う。
- この資料は誰に向けたものか。一般の市民向けなのか、事業を担う人向けなのかによ

っても違う。

- 区民の皆様にお示しする役割と、実際に運営を担っていただく組織に対し、本開設案に沿った運営を求めていくという2つの役割がある。

(項目 2.多摩区を取り巻く状況)

- 多摩区を取り巻く状況は色々なところに書かれている。無くてもよいのではないか。
- 多摩区の SDC をやる人がどう捉えるかということなので、どこかに書いてあるからよいというものではない。
- (3) に地域包括ケアシステムと SDC との関係性が書かれていない。(1) にも人材と情報を引き継ぐと入れてほしい。「エ」の項目についても、磨けば光る多摩事業だけでなく、大きなくくりで地域課題対応事業全体と SDC が、どう協働し、リンクするかを書いてほしい。
- 項目 2 は既存施策について書いており、その後の項目 3 からそれを踏まえた SDC との関連ということになるので、このままの流れでよい。

(項目 3.多摩区における SDC の開設理念)

- 最大公約数として取り込んでいるので、このままでよい。
- 「みんなが認め合い…」という理念は、最大公約数で結構だが、区民にオリジナリティを提示できるような標語にしていただければよりよい理念になると思う。
- 異議があるなら、次回までに対案を出してもらい、どちらがよいかを検討すればよい。

(項目 4.SDC の基本的機能と具体的取組について)

- 特に意見等なし

(項目 5.開設場所)

- このままでよい。議論のしようがない。

(項目 6.SDC の運営と多摩区役所の立上げ支援について)

- 地区カルテの活用が書いてある。地域にはこういう人がいるというような情報を共有していくということか。また、区役所のこれまでの縦割りの組織では対応できないことが現実には起きつつあるが、区役所の再編成も含めて考えているのか。
- 市の情報はたくさんあるが、1つの部署の情報だけでなく横断的な情報を定期的に提供するような組織になってもらいたい。
- 「検討委員が何らかの形で携われる運営形態が望ましい」とあるが、お手盛りと捉えられかねない。これは入れる必要がない。検討委員がだめとはどこにも謳っていない。運営はできる人がやらなければつづれる。
- 施策を進めるときに評価が必要だが、その中で検討委員が集まって、どうかというやり取りをするような関わりが「検討委員が何らかの形で携わる」形としてはよいのではないか。

【ソーシャルデザインセンターの運営について】

- これを読んでもイメージが湧いてこない。機能図や組織図、流れ図のたたき台のようなものを事務局が用意して議論する方がイメージが湧く。次回に向けて提案する。
- ここにいる人が作って持ってくればよい。最初から役所に出せというのは筋違いだと思う。

- 自分の思いを人に図式化してもらうのは難しい。手書きでいいので作って提出してほしい。
  - 小グループでたたき台をつくれれば、検討会で議論しやすいが、どうか。
  - 個人的に案を持っている人がメール等で案を出す、又はグループワークで意見を集約する。やり方は2つに1つだと思う。小グループでなく全体でよいのでは。
  - 進行者と事務局が相談して、どうするか決めたら皆にメールでお知らせする。小グループでということになれば、その際にメンバーを募集する。
- ◎ 次回検討会の司会進行をする委員を決定した。

―次回検討会の日時等について―

- ⇒ 次回は、10月11日（金）午後7時から開催する。